

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立南郷中学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

国語では、「話すこと・聞くこと」に関する設問で正答率が高い結果となりましたが、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する設問で課題が見られました。また、問題形式では「短答式」の設問に課題が見られました

数学では、「資料の活用」の中央値を求める設問で正答率が高い結果となりましたが、「数と式」「図形」に関する設問で課題が見られました。また、問題形式では「短答式」「記述式」の設問に課題が見られました。

質問紙調査では、「規範意識」や「学習習慣」について肯定的な回答が多く見られました。一方、「生活習慣」や「数学への関心等」に課題が見られました。

《強み・弱み》

【強み】

国語において、授業等を中心にさまざまな場面で「目的をもった話し合い」を重ねてきた結果、「話すこと・聞くこと」で高い正答率になっています。質問紙調査の、「国語の授業は大切だと思いますか」「国語の授業で学習したことは、将来、役に立つと思いますか」「国語の授業で、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか」の設問で肯定的な回答が多く、国語に対する関心が高い傾向が見られます

数学では「中央値を求めること」、「グラフからyの値を求めること」、「ヒストグラムから階級の度数を答えること」など資料から必要な情報を適切に読み取る力が身についています。

質問紙調査において、「自分には良いところがあると思いますか」「人が困っているときに進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「友達と協力することは楽しいと思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「家で計画を立てて勉強をしていますか」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の設問に肯定的な回答をする生徒が多く、学校生活および仲間や地域を大事にしようとする傾向が見られます。

【弱み】

国語では「漢字の読み書き」「語彙力」に課題が見られました。この分野は表現力や読解力を支える基礎となることです。身近に使用する言葉の読み書きが確実にできる力をつけていく必要があると考えています。

数学では、説明を求められた問題については正答率が低だけでなく、無解答が多く見られました。自分のことばで説明することについては苦手になっている生徒が多く、課題となっています。

質問紙調査から、「朝食を毎日食べる」「ゲーム等をする時間」などの生活習慣や、「数学が好きですか」「数学の授業で学習したことは、将来、役に立つと思いますか」など数学に対する関心に課題が見られます。

【指導の充実に向けて】

本校では、「確かな学力」を育むために、授業での学習の「めあて」の提示と「振り返り」の実施や、生徒が主体的に課題解決に取り組む一助となる「南郷テキスト」作成し、活用するなど授業改善に努めています。本調査の結果を踏まえ、教科としての学びを確認するとともに「書く力」の育成のため、各教科で「振り返り」を文章で書く取り組みを継続しております。また、「説明する力」を育成するため、ICT機器を活用し、総合学習等で他者に説明する機会を設けております。

例年、家庭での学習習慣に課題が見られましたが、本年度は少し改善傾向が見られます。この傾向を持続できるように、生徒及び保護者に啓発・周知していきます。あわせて、学校・学級図書の実用性を図り、朝の学びの時間にも取り入れる等、記憶力や集中力の向上が期待される読書の習慣化を目指した取り組みを進めます。